



市議会だより

第161号

平成26年8月15日

編集発行 鳥栖市議会
鳥栖市宿町1-1-18
電話85-3525

住みたくなるまち 鳥栖

5月臨時市議会
6月定例市議会

補正予算案や条例案を審議

国への意見書2件を可決、3件を否決

議会報告会で活発な意見交換

一般質問...4~8
20人が質問

- ◆主な事業と予算額.....③
- ◆常任委員会審査報告.....③
- ◆議決結果.....⑨
- ◆意見書・陳情.....⑩
- ◆議会日誌・表彰・編集後記.....⑩

6月定例会

6月定例会は6月2日から6月18日まで開かれ、市長提出議案7件、議員提出議案5件の審議のほか20人の議員が一般質問を行いました。

一般会計 補正予算 3,456万5千円を原案可決

学校給食センター設置条例を可決

補正予算や 条例が提案

今定例会では、一般会計補正予算や学校給食センター条例などの議案を審議しました。

一般会計の補正予算について、補助事業では、国庫支出金の内示に伴い、小規模福祉施設のスプリングクラー設置等の整備や小中一貫教育の調査研究の経費が計上されました。また、単独事業では、コミュニケーション事業補助金、公民館類似施設整備補助金、多面的機能支払交付金負担金、開発に伴う市内遺跡緊急発掘調査の経費、スタジアムネーミングライツ企業特典事業の経費などが計上されました。

このほかに、市立小学校で今年9月から実施される給食の食用物資の調達、調理、運搬等を行う鳥栖市学校給食センターの設置に伴う条例案などが提案されました。

交付金 減額について

本会議では、補正予算の審議の中で、農業生産基盤整備費の多面的機能支払交付金についての質疑があり、交付金の概要や負担割合、交付までの流れについて答弁がありました。

また、小中学校の空調設備設置工事に伴う学校施設環境改善交付金が減額されたことについて質疑があり、「文部科学省の予算に対し、全国の事業規模が上回ったため、この中で、継続事業や耐震化関連事業が優先されたためとの通知を受けた。そのため、本市では、継続事業である給食センターは採択予定事業とされたものの、空調設備設置に関しては不採択という残念な結果となり、今補正予算で市債への財源調整をお願いしている」との答弁がありました。

採決では、補正予算、条例案などの市長提出議案はすべて原案のとおり、全会

議会報告会を開催

一致で可決されました。

5月30日に市議会議員による議会報告会を開催し、13名の市民の方々にご参加いただきました。

報告会では、今年度の当初予算を審議した3月定例会について、議会基本条例に基づき、議会としての説明責任を果たすため、わかりやすく丁寧に、市民目線に立った報告を行いました。

また、来場者との活発な意見交換を行い、貴重なご意見を多数いただきました。ご来場の皆さまには厚く御礼を申し上げます。

なお、報告会でいただいたご質問で、当日お答えができなかった分について、以下のとおり回答いたします。

質問 障害者自立支援給付費9億2964万2千円の内訳を教えてください。



活発な意見が交わされた議会報告会

回答 障害者福祉サービス等（介護給付費・訓練等給付費）8億8498万3千円、相談支援給付費等1142万2千円、療育介護医療費等2219万2千円、補装具費1094万円、高額障害福祉サービス給付費10万5千円となっております。

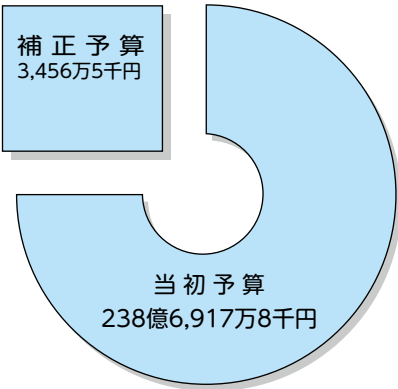
質問 避難所運営用の機材について教えてください。

回答 大規模災害発生時に避難場所を設置する際に必要となる発電機と投光器です。

平成26年度 一般会計補正予算

補正額 3,456万5千円
予算合計 239億374万3千円

【主な歳入】
国・県支出金 △7,625万4千円
市 債 4,310万円



【主な事業と予算額】

- コミュニティ事業補助金 1,780万円
原古賀町公民館の大規模修繕事業に補助するもの
本町区の山笠山車改修事業に補助するもの
松原町区防災会の防災設備等の整備に補助するもの
- 公民館類似施設整備補助金 67万円
田代本町公民館の改修に補助するもの
- 地域介護・福祉空間整備補助金 437万4千円
小規模福祉施設のスプリンクラー等の整備に補助するもの
- 多面的機能支払交付金負担金 165万5千円
地域で農地・農業用水や地域環境を守る取り組みを支援するもの
- 創業支援事業補助金 56万円
- 小中一貫教育調査研究事業 45万5千円
- 市内遺跡緊急発掘調査費 400万円
- スタジアムネーミングライツ企業特典事業 278万3千円

常任委員会審査報告概要

次の項目などについて
質疑がありました

総務文教

総務課 公務災害発生時の状況。松原町区防災会の防災設備等の整備費の総額
教育委員会事務局

学校施設環境改善交付金の予算計上の経緯と考え方。空調設備設置事業に係る交付金が採択されなかった理由と今後のさらなる財政負担の有無。小中一貫教育に
関し、委託料と備品購入費の概要、研究委託事業の旅費の内訳、研究発表会の概要。受託埋蔵文化財調査の委託者への報告。鳥栖スタジアム改修工事の概要と将来的な改修計画

建設経済

農林課 多面的機能支払交付金負担金に
関し、対象となる団体や面積等、交付単価の相違点、交付対

象となる維持管理作業の内容。創業支援事業補助金に
関し、事業の内容と今後の見込等、申請件数の増加理由、創業後の支援、事業の

周知から採択までの流れ
都市整備課 都市公園枯損木伐採等業務に関し、伐採等の対象範囲、予算額の積算根拠、管理の状況、危険箇所等の点検状況

厚生

市民協働推進課 これまでのコミュニティセンター助成事業の申請と採択の状況。自治公民館建設

にあたり、事業実施主体での自主財源確保の取り組み状況、各自治会の公民館の所有の有無、建築年度と老朽化等の状況把握。公民館類似施設整備補助金の補助限度額と新築に係る補助限度額の見直し

社会福祉課 既存の小規模福祉施設等で、スプリンクラー設置義務がある現在未設置の施設数と今後の補助申請への対応。スプリンクラー設置義務違反の罰則。スプリンクラー設置事業費

5月臨時会

6月定例会に先立ち、5月19日に臨時会が開かれました。この臨時会には、学校給食センター工事に
関する請負契約などの変更についての議案等が提出されました。

これらは、給食センターを安全かつ効率的に安定して稼働させるために、工事等の内容を一部変更することに伴うものとして提案されました。

この中で、建築工事の契約変更に対し、契約変更の必要性や時期について納得できない、学校施設面で優先すべきことは山ほどあるとの反対討論がありました。議案はすべて原案のとおり可決されました。

また、この臨時会では、国民健康保険条例の一部改正に関する専決処分事項の承認についての審議も行いました。これに対しては、賦課税限度額の引き上げはすべきでないとの反対討論がありました。賛成多数で認定されました。

一般質問

20人の議員が質問を行いました。
(発言順に掲載しています)

市民向けの 予算説明書を

質問 江副康成議員

予算編成権がある市長が、直接市民に説明責任を果たすツールとして、また、住みたいまちランキングがいつも上位の鳥栖市が、そのセールスツールとして、二セコ町の住民向け予算説明書（総合計画に照らした予算書）などを参考に取組むことは考えられないか。

■更なる改善を模索してい

く

【答弁】 予算説明書については、現在、市報とず、ホームページ、テレビ広報とすなどでお知らせしている

が、これまで以上に市民の皆さまへの情報提供と説明責任を果たしていくことが必要と考えている。

例えば、茅野市、宇土市などの事例、今回ご提案いただいた二セコ町などの事例を参考にしながら、更なる改善を模索したい。

このほかの質問 ◆朝日山公園をまちの顔とするまちづくり／契約変更事務の問題点ほか

JR九州ファームと 農業問題について問う

質問 久保山日出男議員

JR九州ファームの進出は、本市の総合計画の中、合致するの。市長は公約で地産地消の推奨、稼げる農業の人材育成等掲げているが、本市の後継者不足、TPP問題、JA組織の問題等、農業者にとって将来を左右するものであり、市長は今後どのように考えるのか。

■農業振興策を継続してい

く

【答弁】 総合計画上の位置付けについては、今回の農業生産法人の市内進出に関

しては、趣旨が合致するものではないが、農業関連事業の本社を鳥栖市に置いてくださることは大変喜ばしいと考えている。

本市の農業施策については、第6次総合計画に掲載している認定農業者等担い手への農地集積などの推進を図っており、農業振興策を継続し推進していくことで、公約に掲げている「稼げる農業の人材育成」へつなげたい。

このほかの質問 ◆入札不調について

国道3号拡幅 いつ終わるのか

質問 内川隆則議員

なかなか進まないため、鳥栖市は、特別に3号線対策課を設置し、また、中央より副市長を迎え入れた。しかし、今年度予算は3.5億円であり、これでは、鳥栖市の3号線全体事業予算77億円から見れば、20年間もかかってしまう。当初に「5、6年で終わる」と言ったことは、何だったのか。

■地元自治体としてできることを取り組みたい

【答弁】 主要幹線道路の慢性的な交通渋滞解消のため、国を初めとする関係機関や地元の実情を把握されている国会議員等に対し、一般国道3号改良促進期成会を通じて事業推進の要望を行ってきた。

1日も早い事業完了に向け、議会や関係機関との連携強化や期成会による継続した要望活動を行いたい。また、これまで取り組んできた国や地元との話し合いへの同席や、地元と国との橋渡し役についても今後継続して行い、事業の更なる推進のために、地元自治体としてできることを取り組みたい。

このほかの質問 ◆鳥栖の観光／遺物の集約ほか

教育現場の 多忙化解消を

質問 成富牧男議員

教職員の勤務実態はどうなっているのか。その結果についてどのような認識をお持ちなのか。また、多忙と認識されているのなら、

多忙化の原因をどう分析されているのか。そしてその解消策は。

■事務処理に要する時間が十分確保できない現状

【答弁】 昨年度の時間外勤務は、年間延べ人数で、小学校で月80時間以上が5名、月100時間以上が73名、中学校では月80時間以上が202名、月100時間以上が206名だった。

時間外勤務の主な要因は、授業の教材研究や提出物の作成、テストの採点等であり、勤務時間内は児童生徒への対応、放課後はさまざまな会議等への出席等から事務処理に要する時間が十分確保できない現状である。また、中学校では、部活動の指導等、勤務時間後や土日の練習、試合等もあり、小学校に比べ時間外勤務が多くなっている。

今年度導入予定の県内統一の校務管理システムによる事務の効率化、学校現場での事務分掌の均等化、週1回の定時退勤日も多忙化解消の重要な取り組みであると認識している。

このほかの質問 ◆学校給食センター／高齢者福祉

田代小学校のグラウンド整備を

質問 国松敏昭議員

児童のみでなく、各種スポーツ競技などにも使用されている田代小学校のグラウンドは、凹凸が激しく、危険度が高い状況にある。部分的な手当てより、抜本的な対応が必要と考えるが、今後の取り組みをどのように考えているのか問う。

■状況を精査し、整備の検討を深めたい

【答弁】 田代小グラウンドは、学校施設としての役割のほかに、夜間照明の設置により、体育施設としての役割もあわせ持つており、児童に限らず多くの方々にご利用いただいている。グラウンドの排水等の影響による表面の凹凸に関しては、その現状を認識しており、砂等を施すなど、部分的な手当てにより対応している。

今後、田代小学校を含む、小学校と中学校のグラウンドの状況を精査し、整備の検討を深めたい。
このほかの質問◆今後のま

ちづくりを担う本市の道路行政

勝尾城主郭の整備を

質問 小石弘和議員

勝尾城主郭の物見岩からの鳥栖市街と久留米、筑紫平野の眺めは絶景である。さらに、気候条件によつては、遠く英彦山・由布岳まで眺望できる。しかし、前方に樹木が茂つており視界が一部遮られている。中には、枯れたものもあり、景観を損なうとともに危険でもあり、伐採の必要があると思うが。また、眺望できる主な地点の方向を掲示する案内板の設置はできないのか。

■段階的に伐採を進めたい

【答弁】 危険樹木については、昨年度より伐採に着手し、今後危険箇所を排除に取り組んでいく。

眺望確保のための伐採は、近年、緊急雇用創出事業などを活用して択伐を進め、以前と比較すると景色が一変するほど周囲の見通しが良好になってきているが、視界を完全に確保するには至っていない。

当該地区の森林は水源かん養を目的とした保安林であるため、伐採の許可については、県農林事務所と協議を行い、段階的に伐採を進めたい。

眺望地点やその方向を掲示する案内板はぜひ設置したい。

このほかの質問◆道路行政

行政改革の考え方を問う

質問 西依義規議員

近年の鳥栖市における行政改革はどのような状況なのか。また、今後の行政改革については、市民にも見える形で方針をしっかりと立て、中長期的なまちの姿を見据え、市民の理解を得た上で目標を持って取り組む必要があるのではないか。

■柔軟で幅広い意見や提案を取り入れたい

【答弁】 平成17年度から平成21年度にかけて、総務省の行政改革推進のための指針に基づき、「集中改革プラン」に取り組んだ成果として、定数管理の適正化、財政健全化として5年間で約30億円の地方債残高の削

減、外郭団体のあり方の見直し、中学校給食、浄化センター、電算システムの外部委託などが挙げられる。平成22年度からは、市民生活に最適な行政サービスのあり方という視点にウエイトを移し、鳥栖基山連携強化の取り組み、財団法人鳥栖地域振興財団の解散、学校給食センターの建設に取り組んできた。

今後とも、市民や職員の間で柔軟で幅広い意見や提案を取り入れながら、適切な市政運営に努めたい。

このほかの質問◆自立した職員の育成

キャリア教育の充実に向けて

質問 久保山博幸議員

2014年度「子ども・若者白書」によれば、将来に夢を持っていない日本の若者の増加が顕著になっている。「将来の夢」「生きる力の育成」を育む手段として義務教育時における「キャリア教育」の充実が求められるが、今後の取り組みと課題は何か。また、コーディネーター等の必要性はないか。

■先進的な取り組みや実績について調査研究を行う

【答弁】 キャリア教育を進める上での課題として、意義や必要性が十分理解されていない、指導計画を作成している学校が少ない、家庭や地域との連携が不十分であることなどが挙げられる。

小学校では、教師一人ひとりがキャリア教育の理解を深め、児童の発達段階に応じた6年間を見通す取り組みが必要になる。

中学校では、進路指導主事等を中心とした指導体制を確立し、学年間の連携を密にして継続的・発展的に取り組むことが必要である。

キャリア教育充実のため、教科「日本語」の礼儀作法の領域における指導と実践を通し、規範意識を高めたり、自分の夢や将来についての考えを深めたりすることを目指したい。

今後、キャリア教育コーディネーターの先進的な取り組みや実績について調査研究を行いたい。
このほかの質問◆教科「日本語」

街路樹の管理状況は

質問 柴藤泰輔議員

本年4月、川崎市において、街路樹の枝が落下し、女の子の頭を直撃する事故が起きた。これを受け、川崎市は街路樹の点検を開始した。そこで、本市においては、街路樹の点検は、どのようにされているのか尋ねる。

■日常的に道路パトロールを実施している

【答弁】 本市が管理する市道には、現在3772本の街路樹が植えられており、業務委託により、剪定、施肥、薬剤散布を適宜行っている。

街路樹の点検は、日常的に道路パトロールを実施しており、その中で、枯木など倒木、枝の落下の恐れがあるものを発見した場合、伐採を行うなど、早急に対応している。また、台風、大雨、大雪などが予測される場合は、街路樹が植えられている路線を重点的に点検している。

今後とも適正な維持管理に努め、安全・安心なまち

づくりを進めたい。
このほかの質問◆人権問題対策

少子化対策を問う

質問 中川原豊志議員

日本の人口は今後少子高齢化がさらに進み、人口の減少に伴い、若年女性の減少による急激な少子化となるために、医療や年金、介護といった社会保障制度に大きな影響を及ぼすとされている。鳥栖市も他市や県の動向に合わせ、早急な対策を検討する必要があるのでは。

■関係各課が連携を図り取り組む

【答弁】 本年度より不妊治療の一部助成や妊婦歯科検診の助成を始めた。また、子どもの医療費助成は、入院は中学校卒業まで、通院は小学校卒業まで拡大した。さらに、育児不安の軽減を図るための子育て支援センターや子育て情報の集約・発信、子育て支援機関のコーディネートを行う子育て支援総合コーディネート事業にも取り組んでい

健康都市に向けた取り組みは

質問 下田 寛議員

健康都市の構築に向けて、「歩く」ことを期待させる道路管理、健康に対する無関心層への広報や政策推進のリーダー育成をどのように推進するのか。また、クロスロード地域で一体的に取り組むことで、意識の醸成を図ることはできないか。

■安心して散策できる道路づくりを努めたい

【答弁】 ウォーキング道路の整備については、市民の皆さまが安心して散策できる道路づくりに努めたい。無関心層への広報の対応として、うらら健康マイレージ、健康都市宣言、二十歳からの検診を実施し

る。
今後、将来的な少子高齢化の問題も視野に入れ、子育て支援、働く場の確保なども含めた各種施策について、関係各課が連携を図り、住みたくなるまち鳥栖の実現に向け取り組んでいく。
このほかの質問◆市民活動支援補助事業

ている。

人材育成については、うらら推進員の養成、保健センターの運動教室に参加された方々への支援、食生活改善推進員の養成、母子保健推進員の方々など、さまざまな分野の地域リーダーを育成し健康づくりを推進している。

また、クロスロード地域の各種団体が主体となつて実施し、定着しているウォーキングイベントへの積極的な参加を呼びかけた。



田園風景を満喫できる秋光川ジョギングロード

本庁舎の老朽化と対策を問う

質問 古賀和仁議員

本庁舎は老朽化が進み、

耐震強度についても問題があると聞か、現状はどうなのか。本市では国の動向も踏まえ、ファシリティマネジメントに基づき、公共施設保全計画を策定中とのことだが、その予定年度は。そのことを踏まえた、本庁舎建設の検討委員会の設置と方向性等について尋ねる。

■他の公共施設を含めた上で総合的な判断を行う

【答弁】 本庁舎は建築より47年が経過し、老朽化だけでなく、大規模な地震の発生時には倒壊または崩壊の危険性があることなど、さまざまな問題が指摘されている。

この対応については、改築等に要する財源の時期等の問題もあり、平成27年度を目途として策定を予定している公共施設保全計画において、他の公共施設を含めた上で総合的な判断を行ったのち、本庁舎の改築等に関する検討委員会を立ち上げ、その後の具体的な方向性等について検討を進めたい。

このほかの質問◆あき家対策／都市計画

教科「日本語」は 本当に必要か

質問 尼寺倉悟議員

教科「日本語」の導入は、橋本市長の強い指示があったからと聞いているが、どうか。首長の教育への介入にはあたらないのか。

教科「日本語」の大半は今までの国語、総合、社会などで扱っているが、現行教科書をしっかり教え・学べば、教科「日本語」の目的は達成できると考えるが。

「葉隠」を世界に誇る武士道と評価し、教科書に載せようとしているが、そのねらいは。

■系統的で螺旋的な取り組みが展開できる

答弁 首長の教育への介入ではない。

教科「日本語」では、国語や社会と同じような題材であっても、言葉の響きを味わい楽しむことや地域の文化に目を向けていくことを目標としており、系統的で螺旋的な取り組みが展開できると期待している。

生きることのすばらしさを説いたり、佐賀県の気質

や風土に文化として今も息づいていることなど、葉隠に触れることは価値あることだと考えている。

このほかの質問 ◆国民健康保険

学校の 教育環境改善を

質問 飛松妙子議員

障害者権利条約に『他の人と平等に、住みたい場所に住み、受けたい教育を受け』とある。小学6年の難病で身体に障害ある児童が、地元の鳥栖中学校に通いたいが、バリアフリー化されていないため、学校生活が困難である。障がい児への対応と学校の改修事業計画について尋ねる。

■情報を収集し、適宜対応している

答弁 本市の学校施設は、昭和50年代に建築されたものが多く、老朽化の顕著な学校から、順次、計画的に大規模改造を実施している。

一方で、障がいをお持ちの児童や生徒が新入生として入学されるにあたり、学校施設のハード面の対応と

して、例えば、廊下のバリアフリー化やトイレの機能面確保等が未対応である場合は、就学時相談等の機会に情報を収集し、適宜対応している。

このほかの質問 ◆うつ病・自殺対策／男女共同参画ほか

子ども・子育て 支援事業計画を問う

質問 樋口伸一郎議員

平成25年度に行われた、本市における子育て世帯へのニーズ調査の分析結果を踏まえ、今後導入される、政府子ども・子育て支援新制度の導入にどう生かすべからるか。

また、子育て関連者、施設関連者へ、わかりやすい説明から、給付費の支払いまでを尋ねる。

■安心して新制度に移行できるように周知に努める

答弁 今回の調査結果をもとに、将来の利用量を推計し、供給の確保の方策を定めた事業計画の策定を進める。
来年度の入所手続きが始

まる本年秋ごろには、利用者の負担額や利用手順等について、具体的に事例を示しながら、皆さまが安心して新制度に移行できるように周知に努める。

今後、各事業者に対し、新制度への意向確認を行い、本年8月ごろに供給体制の確保の方策を決定し、来年2月ごろに計画を公示する予定である。また、新制度に移行する事業者には、本年秋ごろに基準を満たしていることを確認した上で、来年度から給付費を支給することになる。

まちづくりの 方向性を問う

質問 松隈清之議員

本市の人口増は大規模開発やマンションによるものがほとんどで、既存の住宅地の多くは人口が減少している。このままでは本市の持続性のある発展は望めない。よって、今後は既存住宅地の再生が不可欠である。特に中心市街地の再生については、鉄道高架化の見直しを含めて再生プランを策定すべきではないか。

■民間の力を誘導するよう
な仕掛けを組み込む

答弁 中心市街地については、民間の力を誘導するよう仕掛けを組み込むが、民間投資を呼び込むことは非常に大きな可能性を秘めているのではないかと思っている。その意味で、我々の体制も、それらの民間企業と柔軟に対応できるような組織をつくって対応していくことが非常に重要である。佐賀県やJR九州等の理解をとにかく得る努力をした上で、方向性が見定められたときには、適宜、適切な組織をつくって対応したい。

このほかの質問 ◆消費税増税に対する景気対策



現在の鳥栖駅前の様子

次期ごみ処理施設の規模は

質問 藤田昌隆議員

現在のごみ処理施設の設置期限は、平成35年度末であり、次期ごみ処理施設の建設については、用地選定から施設の建設、試運転、その後の本稼働まで長期間を要する事業である。次期ごみ処理施設は基山町との合併も視野に入れた規模の施設にするべきと考える。

■現行枠組みで施設規模が決定されると考えている

【答弁】 ごみ処理施設建設を考える上では、広域ごみ処理計画と構成市町それぞれに一般廃棄物処理基本計画を策定する必要がある。この計画の中で、ごみの排出量を予測し、施設規模を決定することになっており、一般的には、日々排出されるごみ量に、大規模災害が発生した場合の災害廃棄物を加味して施設の処理能力や規模が決定されている。

このようなことから、現状では1市2町での現行枠組みでのごみ発生量を前提として施設規模が決定され

るものと考えている。
このほかの質問◆ふるさと納税

安東副市長に問う

質問 中村圭一議員

副市長に就任されてから10カ月。この間で鳥栖市の現状をどう分析され、その分析にもとづいたご自身の本市副市長としての役割は何だとお考えか。

■強みを伸ばし、弱みを改善するよう貢献する

【答弁】 分析の一例として、鳥栖市は、働きやすく子育てしやすいまち、住みやすいまちとして、中期的にも着実に人口が増加していく強みがある。また、特徴や優位性のある取り組みを積極的に進めており、発展の機会が見込まれるため、今後とも伸ばしていく戦略が必要と考える。他方、市への来訪者が周辺地域に流れてしまう傾向があり、こうした脅威を克服するための方策をさらに検討し実施する戦略が望まれる。
私の役割は、橋本市長のイニシアティブのもと、国

で培ってきた政策立案のノウハウを市政に還元し、県との関係を強化するパイプ役として注力することと、鳥栖市と佐賀東部地域の発展可能性を見据え、市政に外部の視点を加え、強みを伸ばし、弱みを改善するよう貢献することと考えている。

新年度の予算編成方針は

質問 森山 林議員

本市は、今年4月1日をもって市制施行60周年の節目を迎え、今日の発展は先人たちのご尽力により、着実に成長してきたわけであり、そのことにまず感謝を申し上げ、この60年を振り返り、新たなまちづくりを進めていく中で、平成26年度の予算編成の方針における市政運営の基本方針について問う。

■重点的、効率的な事業を推進したい

【答弁】 本年度は市制施行60周年、還暦の年であり、

原点に戻りつつ、時代の変化に対応できるよう、新しい発想とアイデアを出し合いながら、EPDA（予測、立案、決断、実行）を念頭に、業務の遂行にあたってほしいという思いを基本方針にあらわした。

鳥栖スタイル2020に基づいた主要な事務事業に取り組み、重点プロジェクトと位置付けた事業を優先的、積極的に実施し、その他の事業は、より効果的で効率的な見直しを行うことが必要と考えている。

第6次鳥栖市総合計画の基本理念と基本目標に照らし合わせ、経済対策、子ども関連施策、高齢者関連施策、福祉関連施策、健康関連施策など、職員が一体となって、限られた財源の中で、重点的、効率的な事業を推進したい。

このほかの質問◆サガハイマツト

県立の総合体育館を

質問 伊藤克也議員

鳥栖市がスポーツ交流都

市として、輝きを増している上でも、これまで以上にスポーツによる交流試合、各種大会の誘致等、積極的に働きかけていく必要がある。鳥栖市を含めた県東部地区に県立の総合体育館の必要性を強く感じているが、鳥栖市としての考えは。

■今後とも県への要望を行いたい

【答弁】 市民体育館や市民球場、市民プールや市民公園庭球場は、昭和50年代に整備された施設で、相当の年数が経過しており、安全性・機能保全の観点から、これまで宮繕工事に努めてきた。しかし、大きな大会では、複数の試合会場が必要になる一方で、市民体育館や市民球場などの体育施設は、土日を中心に、翌年度の年間スケジュールがほぼ埋まっている。

鳥栖市の体育施設の状況、さらに県東部地区に県の体育施設が一つもない現状等を踏まえると、県主導による体育施設の建設の可能性について、今後とも県への要望を行いたい。

このほかの質問◆スポーツ施設

5月臨時会・6月定例会の議決結果

◆全会一致（全員賛成）で可決されたもの

		件名	議決結果
5月臨時会	市長提出	国民健康保険特別会計補正予算	原案可決
		工事請負契約の変更【学校給食センター新築工事（機械設備工事）】	
		財産（厨房機器）の取得の変更【学校給食センター厨房機器一式購入】	
		専決処分事項の承認【市税条例の一部改正】	承認
6月定例会	市長提出	一般会計補正予算	原案可決
		学校給食センター設置条例【学校給食センターの設置に伴い条例を制定するもの】	
		非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正【法律施行令の一部改正に伴うもの】	
		佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更【組合を組織する団体数の増加と規約の変更に関する協議のため】	
	議員提出	監査委員の選任【松本英敏氏（神崎市）】	同意
		固定資産評価員の選任【平塚俊範氏（宿町）】	
		人権擁護委員候補者の推薦【古賀啓氏（酒井東町）】	
議員提出	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書（案）	原案可決	
	農業委員会委員の推薦【檜崎タキコ氏（山浦町）、寺崎智氏（村田町）、西依妙子氏（酒井東町）、堤泰子氏（本町）】	推薦決定	

◆反対があったもの

件名	議員名																議決結果							
	西依義規	伊藤克也	下田寛	飛松妙子	樋口伸一郎	柴藤泰輔	江副康成	久保山博幸	中川原豊志	久保山日出男	内川隆則	中村直人	藤田昌隆	国松敏昭	尼寺省悟	成富牧男		小石弘和	松隈清之	中村圭一	古賀和仁	森山林		
5月臨時会	市長提出	工事請負契約の変更【学校給食センター新築工事（建築工事）】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	原案可決
専決処分事項の承認【国民健康保険条例の一部改正】		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	承認
6月定例会	議員提出	国会に憲法改正の早期実現を求める意見書（案）	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	原案可決
		集団的自衛権行使を容認する解釈改憲を行わないことを求める意見書（案）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	否決
		医療・介護総合推進法案の撤回を求める意見書（案）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	
		少人数学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書（案）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	

○賛成、●反対

※議長（齊藤正治）は表決には参加しません

意見書

■ ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

提出：全議員

■ 国会に憲法改正の早期実現を求める意見書

提出：自民、天桜、誠和

※上記の意見書は、国会及び関係行政庁に送付しました。

議会日誌

－ 4月－

- 7日 厚生常任委員会
- 10日 市議会だより編集委員会
- 14日 会派代表者会、議会改革検討会
- 15日 佐賀県市議会議長会（嬉野市）
- 21日 会派代表者会
- 22日 建設経済常任委員会
- 24日～25日 九州市議会議長会総会（那覇市）
- 25日 厚生常任委員会
- 30日 議会改革検討会

－ 5月－

- 1日 多久市市制60周年記念式典（多久市）
- 12日 議会運営委員会、議会改革検討会
市議会だより編集委員会
- 14日～16日 議会運営委員会先進地視察
（米沢市、会津若松市）
- 19日 5月臨時会
- 20日 厚生常任委員会
- 23日 会派代表者会
- 26日 議会運営委員会
- 27日～30日 佐賀県市議会議長会臨時会（東京都）
全国市議会議長会総会（ // ）
- 30日 議会報告会

－ 6月－

- 2日～18日 6月定例会
- 18日 市議会だより編集委員会
- 30日 議会運営委員会、議会改革検討会

■ 鳥栖市議会への視察来庁（4月～6月）

- 名護市（沖縄県） 八王子市（東京都）
- 宜野湾市（沖縄県） 志布志市（鹿児島県）
- 宇治市（京都府） 山形市（山形県）
- 滝川市（北海道）
- 以上7市 [来庁者合計54名]

陳情

■ 地球社会建設決議に関する陳情書

荒木 實

■ 平成26年度理科教育設備整備費等補助予算について のお願い

公益社団法人 日本理科教育振興協会
会長 大久保昇

■ 要望書「鳥栖市発注建設工事の最低制限価格について」

市内土木Cランク一同
株式会社 酒井組 代表取締役 酒井研一
ほか5名

■ 地方自治体における政党機関紙「しんぶん赤旗」の勧誘・配布・ 販売について自治体独自での実態調査及び是正を求める陳情

小坪慎也

■ 地方自治体における政党機関紙「しんぶん赤旗」の勧誘・配布・ 販売について実態調査を要請する意見書の採択を求める陳情

小坪慎也

■ 女性の農業委員への登用にに向けた要請書

佐賀県女性農業委員の会 会長 毛貴和子

■ 女性の農業委員への登用にに向けた要請書

J A佐賀県女性組織協議会 会長 原ひろ子
ほか2名

■ 農業委員改選にあたってのお願い

佐賀県農業会議 会長 船津和正

■ 農業委員改選にあたってのお願い

鳥栖市農業委員会 会長 前間源吾
ほか1名

■ 被爆69周年原水禁運動への協力要請

原水爆禁止佐賀県協議会 会長 緒方克陽

■ 「プレミアム付商品券発行に要する補助金」に関する要 望書

鳥栖商工会議所 会頭 中富舒行

表彰

■ 特別叙勲 旭日単光章

故 佐藤正剛 氏（元議員 4月9日逝去）

■ 全国市議会議長会表彰（5月28日付）

議員在職20年以上 太田幸一 氏（元議員）

編集後記

戦後、日本は敗戦で厳しい物不足の生活が強いられ、昭和30年代、ようやく物が少しずつ手に入ってきた。▼今や物は氾濫し、食物の3割は捨てられている。▼しかし一方、精神面では自殺は3万人、うつ病は年々増大し「臨床心理科」の医師まで生まれた。▼物の豊かさや逆に心の寂しさ。▼物の氾濫で生活の豊かさや誤解する。▼そこで政治にも関心がなくなる。▼「集団的自衛権の行使」？

▼市議選の投票率55%はなんと寂しい。（内川隆則）